



写真:カケス (撮影:平成27年8月16日)

「カケス」

カケスは、頭の白と黒の模様、羽の鮮やかな青い縞模様など、美しい姿をしています。

えびの高原を歩いていると、時折「ジャー、ジャー」という鳥の声が聞こえてきます。この声の主は、カケスです。

カケスは、ハト程の大きさで、九州から本州で繁殖する留鳥です。霧島山でも比較的出现う機会の多い鳥ですが、木から木へと飛び移り、なかなかゆっくりと姿を見せはくれません。

鳴き声はきれいとは言えませんが、頭の白と黒の模様、羽の鮮やかな青い縞模様など、美しい姿をしています。森の中でカケスが落ちた鮮やかな青い羽根を見つけたことがあります。

カケスは、雑食性で昆虫や木の実などさまざまなものを食べます。秋には、どんぐりの実を好んで食べます。どんぐりの実を口に入れて運び、土の中や木の隙間に隠す習性があります。

隠した木の実は後で食べますが、埋めたまま食べ忘れ、残された実が芽を出すこともあります。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

カケス
Garrulus glandarius

スズメ目カラス科